

6月25日探究の時間。生徒たちは「自分でたてたの問いを自分なりに追究しています」



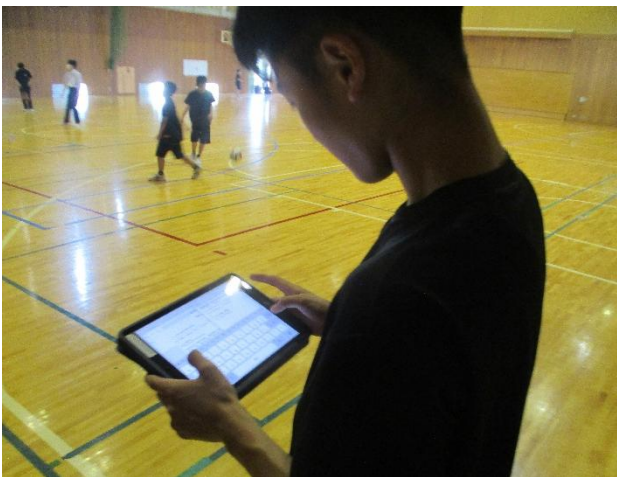
問い「痛いパンチを即座に撃つ方法とは」

2年生が汗だくになっていました。「パンチを打っていたら手が痛くなったので、痛くならない打ち方を練習したい」と言って、タブレットで「パンチの打ち方」を調べているとのことでした。自分の考えを行動に移すことで新たな「問い」が生まれました。



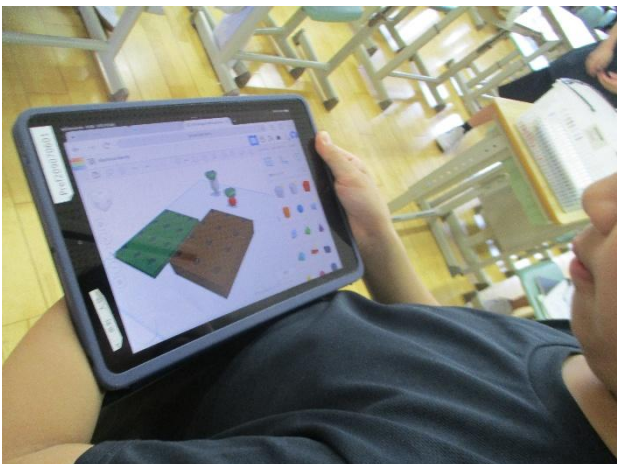
問い「高坂の男獅子をどうやって練習するか」

写真は、地元のお祭りで行われる「獅子舞」に興味をもった2年生が自分で作った道具です。どうやって作ったのか尋ねてみると「おじいさんに教えてもらいながら自分で作った」とのことでした。学校だけでなく自宅でも探究が続いているようです。



問い「バッシュと学校の上はきではシュートの確率はどちらが高いか」

3年生がシュート練習をしていました。この問いを立てた理由を尋ねると「靴の違いでシュートに影響があるか知りたい」と答えました。さらに「それがわかるとどんないいことがあるの」と尋ねると、少し考えて「バッシュの特徴が分かる」と…。対話をしているうちに「新しいバッシュが開発できる？」という話になっていました。



問い「飯綱町の昔のことを調べて3Dプリンターで模型を作り発信する」

1年生が3Dソフトを使って何やら作っていました。問いを立てた理由を尋ねると「“いづな歴史ふれあい館”で昔の飯綱町の生活を再現した模型をみて自分で作ってみたいと思った」と話してくれました。作品がふれあい館に展示してもらえるかもという希望が膨らんできました。